

**Laver, James (direction). Le costume des Tudor à Louis XIII.** Paris, Horizons de France, 1950. 376p. with illus. 26.7×20.3 cm <383.13-L>

本書は『チューダー王朝からルイ13世までの服飾』という総合書名を冠した6つのモノグラフから構成されており、各論文の標題と著者は次の通りである。

1. Le costume sous les Tudor (1485—1558) par James Laver ジェームズ・レイバー著『チューダー王朝の服飾』
2. Le costume en France au temps des Valois (1551—1590) par André Blum アンドレ・ブルーム著『ヴァロワ時代のフランスの服飾』
3. Le costume en Angleterre au temps d'Elisabeth et de Jacques Ier (1558—1625) par Graham Reynolds グラハム・レイノルズ著『エリザベス王朝からジェームズ1世までのイギリスの服飾』
4. Le costume Espagnol de Philippe IV(1550—1660) par Brion Reade ブリアン・リド著『フィリペ4世時代のスペインの服飾』
5. Le costume Hollandais au siècle d'or (1600—1660) par Frithjof van Thienen フリチョフ・ファン・ティエネン著『オランダ黄金時代の服飾』
6. Le costume en France sous Henri IV et Louis XIII(1590—1643) par André Blum アンドレ・ブルーム著『アンリ4世とルイ13世時代のフランスの服飾』

論文の筆者は、それぞれの時代を専攻する欧米の服装研究家であり、監修は、ジェームズ・レイバーが当たっている。各論文は、約30頁の解説と8頁のカラー図版及び50ないし、60種のモノクロ図版からなっている。解説では、服飾史の概要、図版の注解及び文献リストが記され、後半では、絵画、肖像画、彫刻など同時代の原資料から得た図版を豊富に示している。

本書は各時代の服装画やそのモードの形成過程を主に描くということよりも、詳細な解説を記述することに力点をおいている。レイバーの序文には、これまでの研究に重要な影響を与えた研究者とその著作、文献的意義など、西洋服装研究史が簡潔に述べられている。本書のドイツ語版 *Das Kostüm eine Geschichte der Mode* が1952年にミュンヘンより刊行されている。本書は当初『西欧の服装』*Costume of the western world* という36冊のモノグラフ・シリーズで計画されたが、これまで *The Tudors to Louis XIII* が刊行されただけで、他は未刊のままである。本学図書館には英語版、オランダ語版も所蔵されている。(平井)